

# 作業療法だより(5)

平成19年6月

今回で6回目となる当院で患者様に提供している福祉用具(自助具)の紹介をさせていただきます。今回は、洋服のボタンを止めることが出来る「ボタンエイド」と片手で食材の皮を剥くことが出来る「皮むき器」を紹介します。

## 1. ボタンエイド

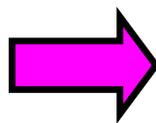
当リハビリテーションセンターにおいて、利用者様に自助具として提供しているのが下のボタンエイドです。



この自助具は、関節リウマチや片方の手指の骨折、脳卒中や神経炎などで指の細かい更衣作業(巧緻性動作)がしにくい方に使用します。



【図1】



【図2】

### <使用方法>

まず、図1のようにボタンエイドの針金を矢印の方向へボタンホールから通し、ボタンを引っ掛けます。次に図2のように引っ掛けたボタンを引き出すために矢印の方向へボタンエイドを引っ張ります。そうすると、ボタンがホールを通り、前開きのボタン止め洋服が片腕で着ることが出来ます。(脳卒中などで更衣動作が困難になられた方には更衣動作全般を当リハビリテーションセンターにて訓練を行います)。

## 2. 調理用皮むき器

続いて当りハビリテーションセンターを利用されている患者様が自宅や職場（飲食店経営など）において調理動作をされた際、円滑にまた安全に調理を行って頂く時に提供している皮むき器を紹介します。



左図のように流し台などの上に皮むき器を固定（設置）し、右腕（もしくは左腕）で皮を剥きたい食材を持って擦り板にあてます。

使いにくくなった腕

そして右図のように、上下に食材を擦りながら皮を剥いていきます。この皮むき器を使用することで、片腕で安全に調理を行うことができます。



当作業療法では、以上のような自助具や福祉用具を患者様に提供し、より良い日常生活や職業復帰を目指す方に、患者様と作業療法士と一緒に考えていきたいと思っています。